

大学生の就職内定率、やや回復の 71.9%！

前年同期比で 3.1 ポイント増

旺文社 教育情報センター 平成 24 年 1 月

文部科学省(以下、文科省)および厚生労働省(以下、厚労省)はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、今春卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率(以下、内定率)は、平成 23 年 12 月 1 日現在で 71.9%(前年同期比 3.1 ポイント増)で、“過去最低”だった前年度を、やや上回る状況であることが判明した。

概況

● 依然として“就職氷河期”を下回る厳しい水準

大学生の内定率は、前年同期比で 3.1 ポイント上回り、やや回復をみせたが、依然として“就職氷河期”といわれた 15 年度の 73.5%、16 年度の 74.3%を下回る、過去 2 番目に低い水準で大変厳しい状況である。また、短大女子も内定率 47.9%、前年同期比 2.6 ポイント増で、同じくやや回復したが、過去 4 番目の低い水準にとどまった。(図 1 参照)

● 内 訳—国公立理系、国公立男子“上げ幅大”。私立女子苦戦—

大学生の内定率を男女別にみると、男子は 73.1%(前年同期比+3.0 ポイント)、女子は 70.5%(同+3.1 ポイント)。文理別では、文系が 71.1%(同+2.8 ポイント)に対し理系は 75.4%(同+4.1 ポイント)で、理系が高い。設置者別では、国公立大が 81.4%(同+4.7 ポイント)、私立大が 68.8%(同+2.5 ポイント)と国公立大の上げ幅が大きく、国公立大と私立大の内定率の差は、前年の 10.4 ポイントから 12.6 ポイントに広がった。特に、国公立大理系 82.1%(同+6.5 ポイント)と、国公立大男子 81.6%(同+6.2 ポイント)の上げ幅が大きい。また、私立大女子は 66.8%(同+2.9 ポイント)と最も低い内定率となった。

地域別の内定率では、北海道・東北地区を除いた全ての地区でアップしており、九州地区 67.3%(同+4.2 ポイント)が最も低く、関東地区 75.4%(同+3.3 ポイント)が最も高い結果となった。

■千葉労働局発表 平成 24 年 3 月新規学校卒業予定者の就職内定状況等について

この調査は、首都圏に位置し就職活動には好立地にある千葉労働局管内の 32 大学(大学院)が調査対象。各大学が、平成 23 年 12 月 1 日時点で学生からの報告等により把握している内定状況等を、同労働局が取りまとめたもので「大学等の協力により可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生は未内定として計上した」としている。

発表によれば、管内にキャンパスがある大学等(大学院生含む)32 大学の卒業予定者は 2 万 3,859 人。その内、求職者は 1 万 7,360 人(男子 1 万 1,437 人・女子 5,923 人)で就職希望率は 72.8%。就職内定者は 8,870 人で内定率は 51.1%(前年同期比+3.2 ポイント)。男子内定者は 5,882 人で内定率 51.4%(同+2.5 ポイント)、女子内定者は 2,988 人で内定率 50.4%(同+4.4 ポイント)となっている。なお、同労働局は「厚労省及び文科省が公表している『大学等卒業予定者の就職内定状況調査』は抽出調査として実施しており、調査時点ごとに、電話・面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではない」と明記している。新卒予定者の就職環境は、依然として非常に厳しい状況にあり、今後の動向に引きつづき注意していきたい。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 23 年 10 月 1 日、12 月 1 日、24 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

平成 23 年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（平成 23 年 12 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校

*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

*前年度就職率＝平成 23 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	75.4% (2.7)	71.9% (3.1)	91.0%
国公立	56.6% (3.7)	81.4% (4.7)	93.5%
私 立	84.7% (2.1)	68.8% (2.5)	90.1%
短 期 大 学	79.0% (▲0.4)	47.9% (2.6)	84.1%
高等専門学校	62.5% (6.0)	97.2% (2.5)	98.7%
合 計	74.8% (2.6)	71.1% (3.2)	90.7%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	69.3% (2.0)	73.1% (3.0)	91.1%
国公立	48.3% (2.5)	81.6% (6.2)	92.5%
私 立	80.5% (1.6)	70.4% (2.0)	90.6%
高等専門学校	62.5% (6.0)	97.2% (2.5)	98.7%
合 計	68.5% (2.5)	75.9% (3.2)	92.0%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	83.8% (3.5)	70.5% (3.1)	90.9%
国公立	69.6% (5.4)	81.2% (3.1)	94.6%
私 立	90.2% (2.8)	66.8% (2.9)	89.6%
短期大学	79.0% (▲0.4)	47.9% (2.6)	84.1%
合 計	82.8% (2.7)	66.0% (3.2)	89.5%

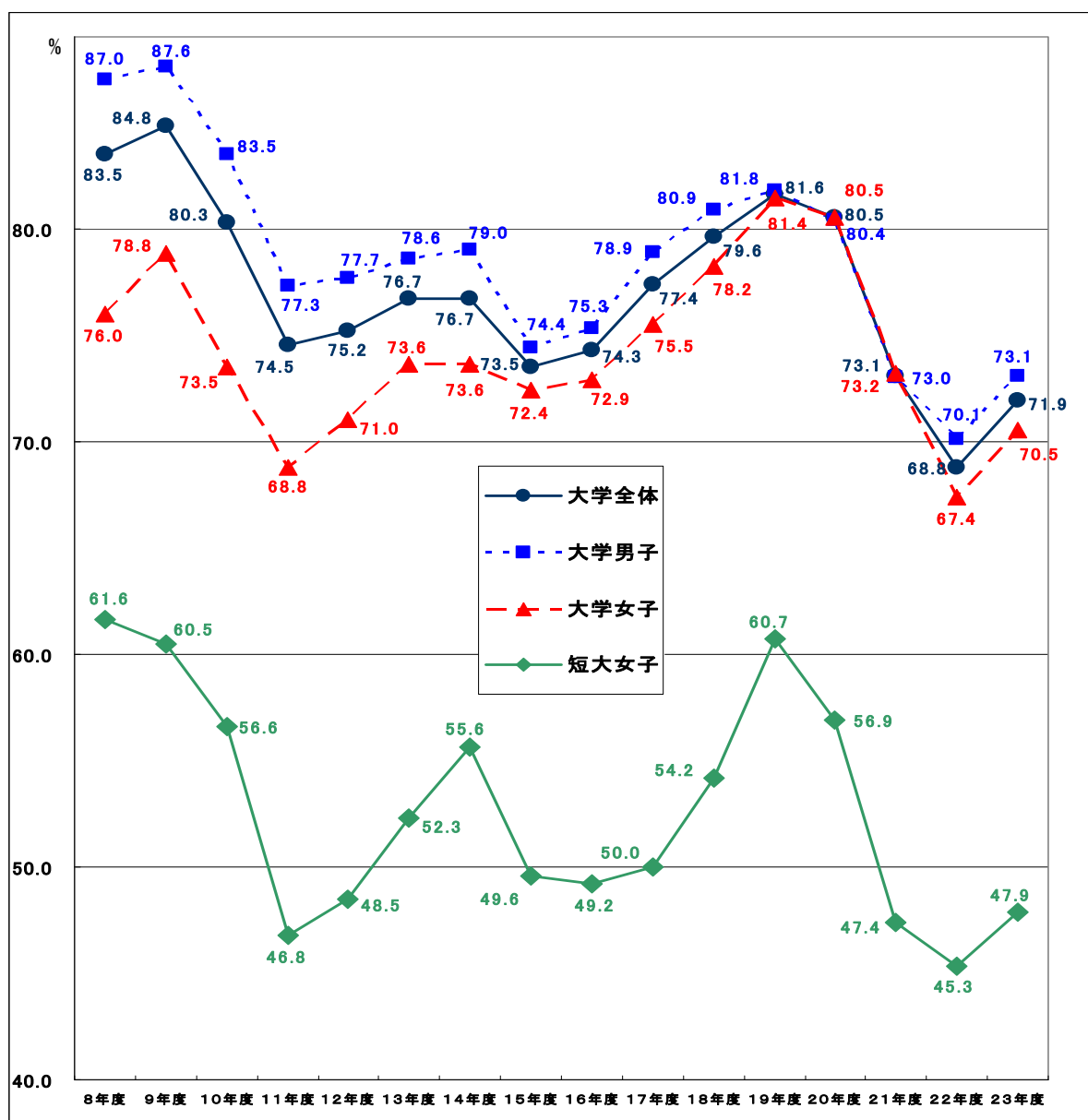
[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	71.1% (2.8)	75.4% (4.1)
国公立	81.1% (3.9)	82.1% (6.5)
私立	68.5% (2.4)	70.2% (2.4)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	69.5% (▲0.4)	近畿	71.9% (0.9)
関東	75.4% (3.3)	中国・四国	69.3% (4.6)
中部	70.3% (8.6)	九州	67.3% (4.2)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（平成23年12月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。